



「志」大野中だより

令和4年12月1日(木)

文責:校長 瀬口 勇治

12月(師走)になりました。令和4年もあと1ヶ月です。1年の締めくくりですね。

ところで、『師走(しわす)』とは?意味は諸説あって、はっきりはしてないようですが、代表的な2説を紹介します。

①一番、有力な説は、師走の師は、僧侶である和尚様、つまり、お坊さんという説です。平安時代後期に書かれた辞書に、色葉字類抄(いろはじるいしょう)というものがあって、その中に「しはす」という言葉で表されています。12月はお寺は忙しく、お師匠様である僧侶が、お経を唱えるために、東西南北を馳せ参じる(駆けまわる)様子から、師馳す(しはす)と呼ばれたというものです。これが、時代とともに、師が馳せるではなく、師が走るとなって、現在の師走(しわす)に変わっていったのだらうというのです。

②一年の最後ということで、**年が果てる**という意味から、年果つ⇒としはつ⇒しはす⇒しわす(師走)となった説。何となく、あわただしい気持ちになる12月ですが、じっくり落ち着いた学校生活を過ごしましょう。

生徒会役員 退任式・認証式 生徒会リーダー研修(スローガン審議)

11月16日(火)に、生徒会役員の退任式と認証式を行いました。

3年生の生徒会役員一人一人から退任の挨拶が行われ、一人一人が生徒会役員としての頑張りや誇り、皆への感謝を語りました。3年生の生徒会役員の皆さん、本当にありがとうございました。



そして、第77代となる新しい生徒会役員も緊張した中にも、頑張ろうとする意気込みを感じる姿勢が見られました。大野中の伝統を引き継ぐとともに、新しい大野中の可能性を引き出してくれるものと期待しています。

また、11月26日(土)の放課後には、新生徒会執行部によるスローガン審議が行われました。大野中の実態や目指す姿を元に、どんなスローガンを掲げればいいのか、互いに意見を出し合う姿が頼もしくも思えました。話し合いを重ね、第77代生徒会にふさわしいスローガンになってくれればと思います。

大野城市 市民総ぐるみ防災訓練

11月26日(土)は、市民総ぐるみ防災訓練の日で、大野城市内小中学校すべてが登校日となり、防災訓練を実施しました。地震を想定した避難訓練でしたが、スムーズに行動することができていました。



もし、本当に災害が起きたときに、中学生に求められる役割は、何でしょうか。「自助」(家族を含む、自分自身の身の安全を守ること)はもちろん、「共助」(地域やコミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合うこと)においても、大きな力となって役割を担うことができるようになることだと考えています。そのためにも、ただの訓練で終わらずに、自分で考えながら行動することが大切です。地域の方も中学生に大きな期待を寄せています。

第74回 人権週間 令和4年12月4日(日)～12月10日(土)
 ～ 人権啓発キャッチコピー ～ [「誰か」のことじゃない]
 昭和23年(1948年)12月10日、国連第3回総会(パリ)において、「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と決めました。我が国においては同宣言が採択されたことを記念して、毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)を、「人権週間」と定めています。この時期に、改めて「思いやりの心」や「かけがえのない命」について考えてみましょう。

今後の主な行事予定

日程	学校行事	New!! 御手洗 奈穂(みたらい なお)先生 田中希美先生の産休に伴い、新しく御手洗奈穂先生にお越しいただき、音楽の授業を行っていただいています。全学級の音楽の授業を受け持っていただきますので、みんなで活発な授業にしていきたいと思います。
12月2日(金)	1・2年 授業参観・懇談会	
12月4日(日)	大野城市市制施行50周年記念式典	
12月5日(月)	教育相談、進路相談 最終日	
12月12日(月)	特別教室、廊下 ワックスがけ	

